



国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域

大久保 伸

I はじめに

令和2年4月より国立環境研究所に出向しています。これから本誌内の秋号と冬号の2回に分けて、こちらの様子をご報告させていただければと思います。本号では、国立環境研究所ってどんなところかを、実際に着任してみてもう理解できたことや感じたことを中心に紹介させていただきます。なお、国立環境研究所には、つくば市以外に、福島県や滋賀県等に実験施設等が置かれていますが、ここでは、つくば本部のことをご紹介いたします。

II 国立環境研究所について

国立環境研究所(国環研やNIES(ニース))の略称で呼ばれています。本記事内でも以降は国環研と記載します。ただ、地元の方は環境研と言っていることが多いので、タクシーなどでは、環境研と言った方が通じるかもしれません。)は、環境省が所管する国立研究開発法人で総務や企画、連携推進、情報部からなる企画・支援部門に加えて、6つの研究領域等からなる研究実施部門があり、約1,000名もの職員(うち、研究系の職員が約350名)が働いています。茨城県つくば市に、敷地面積230,639㎡(東京ドーム約5個分もあります。)と広大な敷地に、春になると綺麗に色づく桜並木や池などがある緑豊かな構内に分散して研究棟があります(図1)。このため足を踏み入れたことがない研究棟もあることから、構内や建物内でいまだに迷子になります。また、研究棟には便利施設として食堂・売店や図書館、どなたが利用しているか不明な床屋さんがあったりします。加えて、本号が発行される秋ごろには、構内でカケスやモズといった鳥やシジミチョウやタテハチョウの仲間などの昆虫も確認でき、季節を感じられる施設になっています¹⁾。国環研には、打合せ等の目的で会議室だけ寄って帰るといふ方々がほとんどかもしれませんが、少し時間を作って、食堂でのランチや構内を探索してみるはいかがでしょう。新たな発見があるかもしれません。



図1 国立環境研究所の地図

Ⅲ 研究活動について

国環研は、公害が問題となっている真ただ中の1974年に国立公害研究所として発足し、その後、地域の環境問題や地球環境問題など、その時代のニーズに応じた研究を実施するという広がりを見せていることから1990年に国立環境研究所と名称を変更し、現在に至っています。研究者というと個々の専門分野を追究していくイメージを持っておりましたが、国環研の研究者は、災害研究や廃プラ対策、気候変動適応策など、時々の新たな課題に対して、ご自身の専門分野を活かしながら研究を進めていく柔軟なところがあることと、環境省が示す環境研究・環境技術開発の推進戦略の中で、国環研の研究活動のあり方²⁾が明記されており、これに対して組織としても5年ごとに目標達成のために中長期計画を定め研究活動を進めていることから、個の研究というより組織として研究を行っている傾向が強いように感じています。この中長期計画は2021年4月より5期目に入り、部署名が資源循環・廃棄物研究センターから「廃棄物」という名称が削除され、資源循環領域と変更されたのも時世と感ずますし、中核的な研究としては、2050年、2100年も人が健全であり続けるために、人間活動に伴う物質フローはどのような状態であるべきか、そこに向けた変革の方向性、科学的目標を示すことを目標にした「プラネタリーヘルスに向けた物質フローの革新的転換研究プログラム（物質フロー革新研究プログラム）」が始動しています（図2）。これからの研究成果にご注目ください。

研究の成果は、専門誌に投稿し、公表することが通例かと思いますが、専門誌の論文という形式では、一般の方にはアクセスすることも含め、少し難しいところがあると思います。そこで、国環研の研究者には、研究成果を一般の方に届く形での発信をすることも強く求められています。例えば、資源循環領域では高校生向けにして書いたオンラインマガジン⁴⁾という形で成果発信をしています。また、小学生などを対象にした体験型の「夏の大大公開」（図3）といったイベント⁵⁾を開催しております。このように配信方法も工夫していますので、抵抗感少なく研究成果に触れていただけたらと思います。是非、お気軽にご覧ください。



図2 物質フロー革新研究プログラムの概要



図3 研究成果の配信

IV おわりに

本号では、筆者が着任前では知れなかった国環研のことを中心に紹介させていただきました。少しでも国環研を身近に感じていただいて、まず、HPにアクセスしてみようと思っていただけると幸いです。コロナ禍で実地は難しい状況ですが、オンラインのイベント⁵⁾も次々と企画されておりますので、是非参加してみてください。次号では、国環研で担当している業務について紹介させていただく予定です。

参考文献

- 1) 国立環境研究所構内の自然探索2019年版、https://www.nies.go.jp/kanko/sonota/nies_shizentansaku2019.pdf
- 2) 環境省：環境研究・環境技術開発の推進戦略、2019年5月
- 3) 国立環境研究所ニュース40巻2号、<https://www.nies.go.jp/kanko/news/40/index.html>
- 4) 資源循環領域オンラインマガジン環環kankan、<https://www-cycle.nies.go.jp/magazine/index.html>
- 5) 国立環境研究所イベント情報HP、<https://www.nies.go.jp/event/index.html>

PCB廃棄物の収集運搬業 作業従事者講習会

FROM JW CENTER

教育研修部

「PCB廃棄物の収集運搬業作業従事者講習会」を開催しております。

詳細につきましては、JWセンターホームページをご参照ください。

○目的

PCB廃棄物の収集運搬業の許可については、廃棄物処理法施行規則第10条の13第二号ロの規定により、「当該業務に直接従事する者は、当該廃PCB等の性状に関し特に注意すべき事項などの十分な知識及び技能を有すること」が定められています。この講習会は、これらに関する知識及び技能を習得していただくことを目的としております。

【対象】 PCB廃棄物の収集運搬に直接従事する方

※PCB入り廃感圧複写紙等を選別し容器に収納、運搬する作業等に従事する方、試料の採取、分析業務に従事する分析機関の方、無害化处理等の業務に従事する方の受講を推奨いたします。

【受講料】 12,200円（税込）

【開催日程（試験日程）】

開催地	開催日時	試験開始時間	会場	定員
東京	2021年10月27日(水)	9:50	ベルサール西新宿	50
北海道	2021年11月18日(木)	13:30	北海道自治労会館	40
福岡	2021年12月 2日(木)	9:50	(公財)福岡県中小企業振興センター	75
大阪	2022年 1月19日(水)	9:50	大阪私学会館	60
東京	2022年 2月 8日(火)	9:50	ベルサール西新宿	50
大阪	2022年 3月11日(金)	13:30	大阪私学会館	60

【参考URL】 <https://www.jwnet.or.jp/workshop/list/pcb/index.html>

医療関係機関等を対象にした 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会 のご案内

FROM JW CENTER

教育研修部

「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」を開催しております。
詳細につきましては、JWセンターホームページをご参照ください。

○目的

この講習会は、廃棄物処理法に定められている特別管理産業廃棄物を生ずる医療関係機関等における特別管理産業廃棄物管理責任者になろうとする方などが、特別管理産業廃棄物に係る管理全般にわたる業務を適切に遂行するために必要な知識を修得することを目的としています。

【対象】 ・医療関係機関等における特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を取得したい方
・医療関係機関等の特別管理産業廃棄物管理責任者で必要な専門的知識を修得したい方

【主催】 (公社)日本医師会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

【受講料】 13,800円(税込) (Web申込割引価格適用)

【開催日程(試験日程)】

開催地	開催日時	試験開始時間	会場	定員
東京	2021年10月27日(水)	13:30	ベルサール西新宿	50
北海道	2021年11月18日(木)	13:30	北海道自治労会館	30
福岡	2021年12月 2日(木)	13:30	(公財)福岡県中小企業振興センター	75
愛知	2021年12月10日(金)	13:30	名古屋国際会議場	75
大阪	2022年 1月19日(水)	13:30	大阪私学会館	60
東京	2022年 2月 8日(火)	13:30	ベルサール西新宿	50

参考URL https://www.jwnet.or.jp/workshop/list/haishutu_iryuu/index.html

JWセンター主催 「廃棄物処理法初心者のためのWeb講座」 令和3年度 第2弾 開催報告

FROM JW CENTER

総務部広報室

第2弾は、第1回から第3回は廃産業廃棄物の種類の区分等について長岡文明氏にご講義いただき、第4回、第5回は山形県庁の現役職員3名の方に、演習とその解説、及び実務上の心構え等をご講義いただきました。

●開催概要

[研修名] 廃棄物処理法初心者のためのWeb講座

[講師] 第1回～第3回

長岡 文明 氏 (BUN環境課題研修事務所 主宰)

第4回、第5回

横山 英史 氏 (山形県循環型社会推進課 廃棄物対策主査)

神田 善弘 氏 (山形県村山総合支庁保健福祉環境部環境課リサイクル推進専門員)

三浦 大平 氏 (山形県庄内総合支庁保健福祉環境部環境課廃棄物・海岸漂着物対策担当廃棄物対策主査)

[開催方法] Web会議システム (Webex) を用いたオンライン講義

[対象] JWセンター職員及び環境省・都道府県政令市等の産業廃棄物部局のご担当者

[開催日時及び講義内容]

講義内容	日時
第1回 産業廃棄物廃棄物20種類の区分 (1)	令和3年9月 3日 14:30～16:30
第2回 産業廃棄物廃棄物20種類の区分 (2)	令和3年9月10日 14:30～16:30
第3回 特別管理産業廃棄物	令和3年9月16日 14:30～16:30
第4回 収集運搬業の許可事務に係る実務と心構え/演習	令和3年9月21日 14:00～16:30
第5回 廃棄物処理法と立入検査/演習	令和3年9月27日 14:00～16:30

令和3年版 廃棄物処理法令(三段対照)・通知集

●法令 (法律・政令・省令及び告示)

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、施行令 (政令)、施行規則 (省令) を互の委任関係が分かりやすい三段対照として編集。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係政省令及び告示も収載。

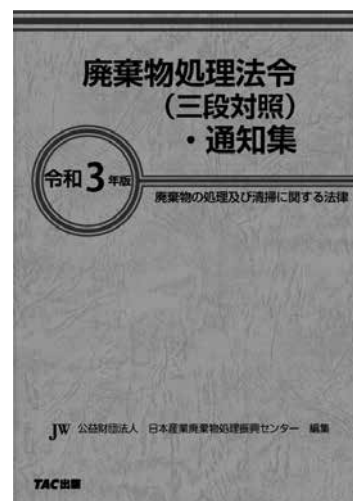
●通知

- ・排出事業者及び産業廃棄物処理業者に関わりのある通知を最新内容まで厳選して収載。

●資料編

- ・廃棄物処理法における罰則一覧、廃棄物関連ホームページ一覧を収載。

JWセンターホームページよりお申込みください。

URL <https://www.jwnet.or.jp/publish>B5判・本文1,077頁
定価4,730円(本体4,300円+税)